

Correlation between synovitis detected on enhanced-magnetic resonance imaging and a histological analysis with a patient-oriented outcome measure for Japanese patients with end-stage knee osteoarthritis receiving joint replacement surgery

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2010-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 劉, 立足 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001014

順天堂大学 博士（医学）
氏名 劉 立足

論文題目 Correlation between synovitis detected on magnetic resonance imaging and a histological analysis with a patient-oriented outcome measure for patients with end-stage knee osteoarthritis
(末期変形性膝関節症における MRI 及び組織学的評価による滑膜炎と患者立脚型機能評価との相関)

論文内容の要旨

変形性膝関節症(以下、膝 OA)は、関節軟骨の変性と摩耗を病態の主座とし、関節の変形と破壊を招く疾患である。滑膜炎は、それに続発して発生する二次的現象ではあるが、近年膝 OA の臨床症状や病態進行に深く関与することが明らかになっている。膝 OA 患者の障害程度は、疼痛を主に拘縮、可動域制限や変形など複合的要素の集合として規定される。従来、その評価は医師が他覚的に行ってきたが正確性に問題があり、他の疾患と同様、患者自身による評価に重きが置かれるようになってきている。日本版変形性膝関節症患者機能評価表(The Japanese Knee Osteoarthritis Measure : JKOM)は日本人の生活様式の独自性を考慮に入れた患者立脚型膝 OA 患者機能評価ツールとして開発された。本研究では、膝 OA 患者の滑膜炎と JKOM を用いて評価した機能障害との間に相関があるか否かについて検討した。対象は、人工膝関節置換術(TKA)を行った内側型末期膝 OA 患者 20 名である。術前に疼痛 Visual Analog Scale (VAS)スコアと JKOM スコアを用いて、それぞれ疼痛と機能障害の評価を行った。手術時に膝関節内 5 箇所より滑膜サンプルを採取した。滑膜炎の評価は、組織学検査と造影 MRI の 2 つの方法を用いて行った。組織学的及び MRI による滑膜炎のスコアと、VAS スコア及び JKOM スコアとの相関性の有無を、スペアマン順位相関係数を用いて検討した。組織学的及び MRI による滑膜炎のスコアと、VAS スコアの間には相関は認められなかった。一方、これら滑膜炎スコアと JKOM スコアの間には有意な正相関が認められた ($r=0.50, p=0.03$ と $r=0.73, p=0.03$)。これらの結果より、末期膝 OA 患者自身の評価による機能障害程度は、滑膜炎の程度と強く相関していることが示唆された。